

水道事業・下水道事業

財政計画

(平成28年度～平成31年度)

平成28年(2016年)2月

旭川市水道局

目 次

1	財政計画の策定	1
2	財政計画の取組	2
	(1) 施策体系	2
	(2) 業務予定量及び整備計画	3
	【水道事業】	3
	【下水道事業】	4
3	財政収支見通し	5
	【水道事業】	5
	【下水道事業】	6
4	長期財政推計	7
	【水道事業】	7
	【下水道事業】	8
5	参考資料	9
	【水道事業】	9
	【下水道事業】	10

1 財政計画の策定

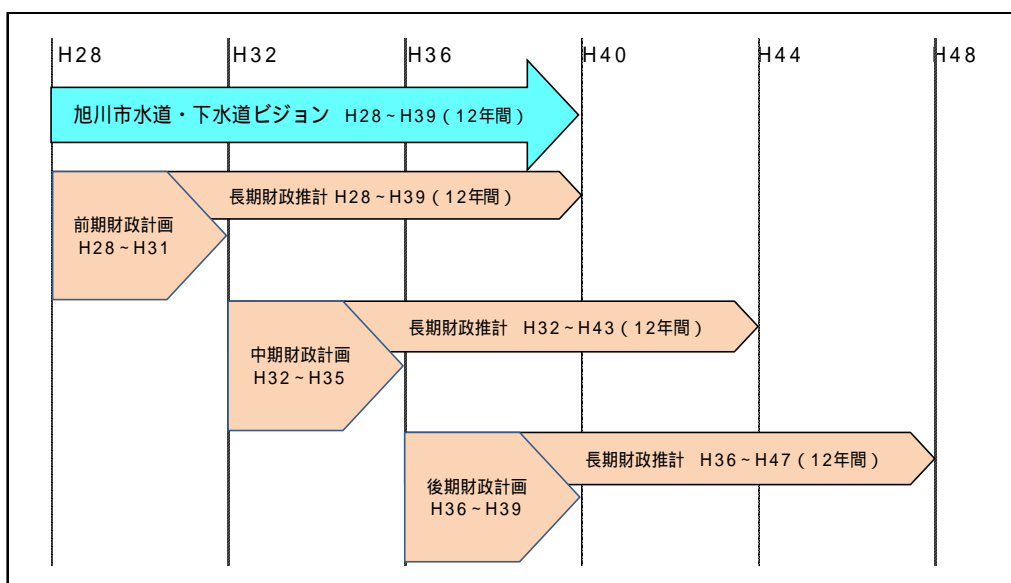
水道・下水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。両事業ともに整備・拡張の時代から維持・管理の時代を迎えていることに加え、人口減少や節水意識の高まりなどにより水需要は減少傾向にあり、経営の根幹を成す料金・使用料収入の今後の伸びは期待できない状況にあります。このような中、老朽化した既存施設の更新や長寿命化、自然災害への対応などに取り組み、市民生活や都市活動に欠くことのできないライフラインとしての機能を維持していく必要があります。

水道局では、経営環境が厳しさを増している中であって、環境の大きな変化に的確に対応し、お客様の満足度を高めていくためには、水道・下水道事業のあるべき姿や施策の方向性を明らかにし、お客様と情報の共有を図りながら各種事業に取り組んでいくことが重要との考えから、今後の水道・下水道事業を総合的かつ計画的に推進するための指針として「旭川市水道・下水道ビジョン」(以下「ビジョン」という。)を本年2月に策定しました。

ビジョンの計画期間は、平成28年度(2016年度)から平成39年度(2027年度)までの12年間であり、ビジョンの実現に向けて、この12年間の期間を前期・中期・後期に分け、それぞれ4か年を計画期間とする財政計画を策定することとしています。

中期的な計画である本財政計画は、ビジョンの前期財政計画という位置付けであり、長期的な財政と設備投資の状況を踏まえたアセットマネジメントによる向こう12年間の財政収支を推計(長期財政推計)した上で策定したものです。

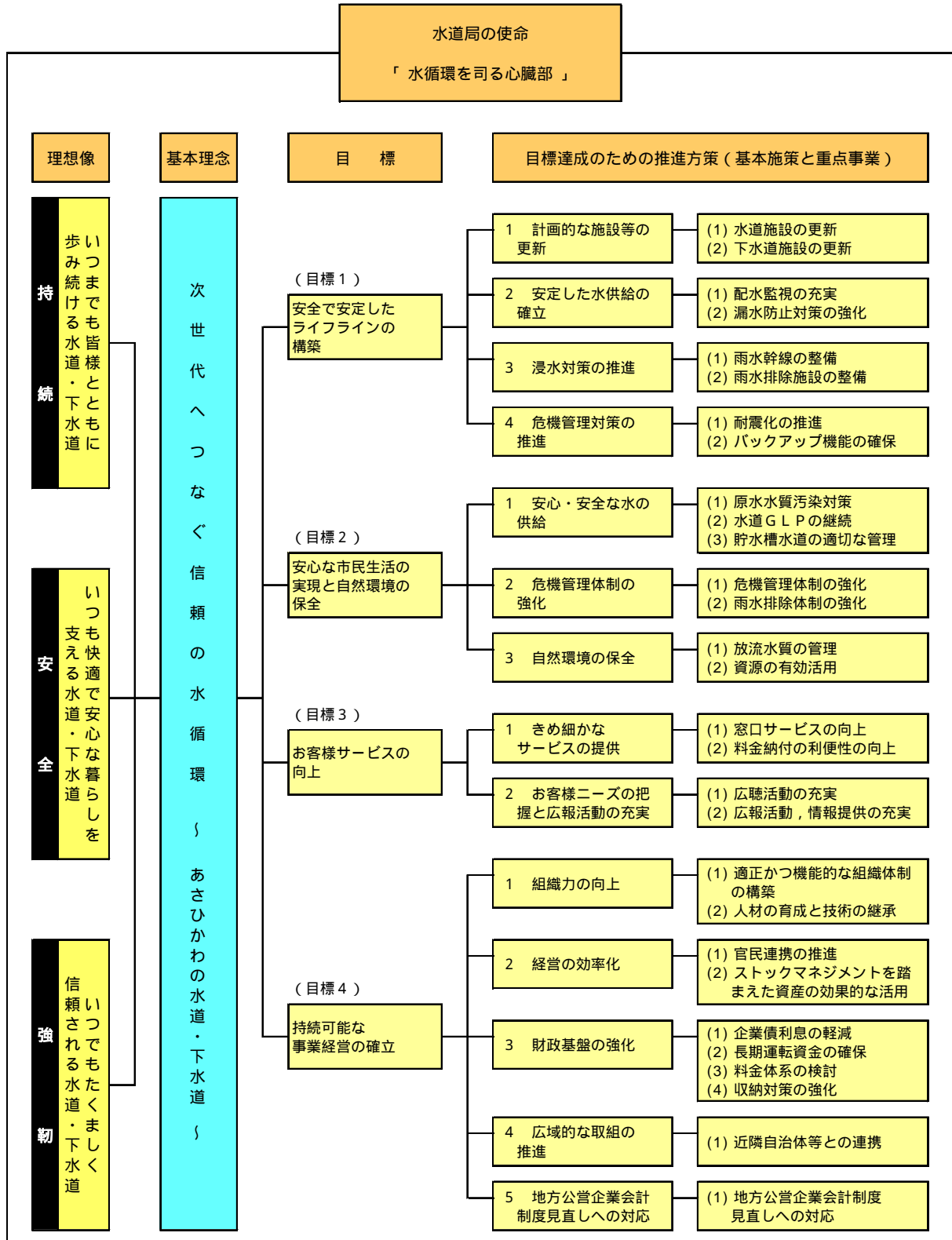
ビジョン、財政計画、長期財政推計の関係



2 財政計画の取組

(1) 施策体系

水道局は、「水循環を司る心臓部」としての使命を果たすとともに、ビジョンにおいて設定した水道・下水道の理想像，基本理念及び目標を踏まえ，本財政計画期間において次のとおり取り組みます。



(2) 業務予定量及び整備計画

本財政計画期間の業務予定量及び整備計画は次のとおりです。

【水道事業】

業務予定量

(単位:人, %, m³)

区分		年度	H28	H29	H30	H31
人 口	行政区域内人口		342,000	339,000	337,000	335,000
	給水区域内人口 (A)		339,400	337,400	335,400	333,500
	給水人口 (B)		321,100	319,900	318,300	316,800
	普及率 (B/A)		94.6	94.8	94.9	95.0
水 量	1日平均給水量		97,000	96,400	95,700	95,000
	年間給水量 (C)		35,405,000	35,186,000	34,930,500	34,770,000
	年間有収水量 (D)		30,404,500	30,185,500	29,930,000	29,755,800
	有収率 (D/C)		85.9	85.8	85.7	85.6

整備計画

(単位:千円)

区分		年度	H28	H29	H30	H31	合計
事 業 費	取水施設		0	2,200	0	8,148	10,348
	浄水施設		329,759	783,798	664,012	224,404	2,001,973
	配水施設		172,536	132,729	76,247	107,837	489,349
	配水管		1,152,480	1,104,249	1,102,840	1,150,305	4,509,874
	量水器		553,915	568,595	590,238	622,916	2,335,664
	その他		182,489	204,799	196,804	223,385	807,477
	合計		2,391,179	2,796,370	2,630,141	2,336,995	10,154,685

【主な事業】

- 石狩川浄水場中央監視設備更新
- 石狩川浄水場水質試験棟空調設備ほか更新
- 石狩川浄水場天日乾燥床増築
- 配水管（塩化ビニル管（TS接続型継手））布設替

【下水道事業】

業務予定量

(単位:人, %, m³)

区分		年度	H28	H29	H30	H31
人 口	行政区域内人口		342,000	339,000	337,000	335,000
	処理区域内人口 (A)		331,200	328,500	326,700	325,000
	水洗化人口 (B)		321,600	319,700	318,600	317,600
	水洗化率 (B/A)		97.1	97.3	97.5	97.7
水 量	1日平均汚水量		112,340	110,886	109,456	108,180
	年間汚水量 (C)		41,004,000	40,473,300	39,951,300	39,593,900
	年間有収汚水量 (D)		31,757,600	31,513,200	31,271,100	31,116,600
	有収率 (D/C)		77.5	77.9	78.3	78.6

整備計画

(単位:千円)

区分		年度	H28	H29	H30	H31	合計
事 業 費	下水管布設		492,500	1,198,000	591,000	401,000	2,682,500
	処理場施設		780,000	828,000	1,030,000	1,630,000	4,268,000
	ポンプ場施設		25,000	0	0	20,000	45,000
	その他		300,666	335,392	228,143	369,294	1,233,495
	合計		1,598,166	2,361,392	1,849,143	2,420,294	8,228,995

【主な事業】

- 中央地区下水管更新
- 下水処理センター汚泥脱水機更新
- 下水処理センター受変電設備更新
- 下水処理センター汚泥焼却炉更新

3 財政収支見通し

本財政計画期間の財政収支見通しは次のとおりです。

【水道事業】

財政収支見通し

(単位:千円)

年度		H28	H29	H30	H31	合計
区分						
収益的収支	収益的収入	5,692,126	5,697,597	5,662,068	5,618,834	22,670,625
	収益的支出	5,514,797	5,628,046	5,674,481	5,428,104	22,245,428
	損益	177,329	69,551	12,413	190,730	425,197
利益剰余金		177,329	69,551	12,413	178,317	-
資本的収支	資本的収入	1,626,385	1,959,048	1,734,177	1,417,067	6,736,677
	資本的支出	4,777,677	5,212,608	5,114,368	4,698,918	19,803,571
	差引額	3,151,292	3,253,560	3,380,191	3,281,851	13,066,894
補填財源		2,660,132	2,841,291	2,975,941	2,736,622	11,213,986
当年度資金収支		313,831	342,718	416,663	354,499	1,427,711
資金収支累計額		1,802,616	1,459,898	1,043,235	688,736	-

収益的収支は税抜, 資本的収支は税込

利益剰余金が (マイナス) の場合は累積欠損金

(参考)

(単位:億円)

年度	H28	H29	H30	H31
区分				
企業債残高	328	324	316	306

財政収支見通しでは、損益は平成30年度を除き黒字を計上していますが、当年度資金収支が毎年度マイナスになるなど財政状況は厳しくなると見込んでいます。

しかし、社会経済情勢等に大きな変化がない限り、財政計画期間を通して事業運営に必要な資金は確保できる見込みであり、現行の料金体系を維持することができると考えています。

企業債残高は、財政計画期間を通して毎年度減少する見込みです。

【下水道事業】

財政収支見通し

(単位:千円)

年度		H28	H29	H30	H31	合計
区分						
収益的収支	収益的収入	8,886,070	8,834,937	8,796,078	8,751,158	35,268,243
	収益的支出	8,664,044	8,332,188	8,245,265	8,162,713	33,404,210
	損益	222,026	502,749	550,813	588,445	1,864,033
利益剰余金		222,026	502,749	550,813	588,445	-
資本的収支	資本的収入	2,962,100	3,333,423	2,900,866	2,928,280	12,124,669
	資本的支出	5,739,777	6,331,683	6,023,028	6,280,636	24,375,124
	差引額	2,777,677	2,998,260	3,122,162	3,352,356	12,250,455
補填財源		2,663,192	2,551,315	2,568,696	2,601,971	10,385,174
当年度資金収支		107,541	55,804	2,653	161,940	1,248
資金収支累計額		957,897	1,013,701	1,011,048	849,108	-

収益的収支は税抜, 資本的収支は税込

(参考)

(単位:億円)

年度	H28	H29	H30	H31
区分				
企業債残高	406	383	360	337

財政収支見通しでは、損益は毎年度黒字を計上していますが、当年度資金収支が平成30年度と平成31年度にマイナスになるなど財政状況は厳しくなると見込んでいます。

しかし、社会経済情勢等に大きな変化がない限り、財政計画期間を通して事業運営に必要な資金は確保できる見込みであり、現行の使用料体系を維持することができると考えています。

企業債残高は、財政計画期間を通して毎年度減少する見込みです。

4 長期財政推計

向こう12年間（平成28年度～平成39年度）の財政収支見通しは次のとおりです。

【水道事業】

収益的収支(税抜) (単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
収益的 収入	5,692	5,698	5,662	5,619	5,535	5,484	5,433	5,390	5,326	5,276	5,227	5,189
収益的 支出	5,515	5,628	5,674	5,428	5,511	5,510	5,498	5,519	5,521	5,516	5,526	5,519
損益	177	70	12	191	24	26	65	129	195	240	299	330
利益 剰余金	177	70	12	179	24	26	91	220	415	655	954	1,284

利益剰余金が（マイナス）の場合は累積欠損金

資本的収支(税込) (単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
資本的 収入	1,626	1,959	1,734	1,417	2,261	2,358	2,080	2,127	2,120	2,669	1,999	2,262
資本的 支出	4,777	5,213	5,114	4,699	5,426	5,578	5,426	5,482	5,510	6,071	5,409	5,643
差引額	3,151	3,254	3,380	3,282	3,165	3,220	3,346	3,355	3,390	3,402	3,410	3,381

資金計算 (単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
当年度 資金収支	314	343	417	354	287	368	520	546	621	661	705	694
資金収支 累計額	1,803	1,460	1,043	689	402	34	486	1,032	1,653	2,314	3,019	3,713

(参考) (単位:億円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
企業債 残高	328	324	316	306	305	304	299	294	289	290	283	280

【算定条件】

水道料金	現行の料金体系で算定
維持管理費	平成28年度予算の単価を基本にして算定
人件費	平成28年度予算の平均給与を基本にして算定
企業債（借入金）	年利1.2%で算定
消費税及び地方消費税	平成28年度は8%、平成29年度以降は10%で算定

長期財政推計では、損益は平成33年度以降赤字になり、当年度資金収支も毎年度マイナスになるなど財政状況は厳しさを増し、平成34年度に資金不足に陥ると見込んでいます。資金不足額は平成34年度以降も増加し、財政が好転する要素が見込まれないことから、施設の更新等に必要な財源の確保に向けて、料金改定も視野に入れながら検討することが必要と考えています。

企業債残高は、僅かながら減少傾向で推移していくと見込んでいます。

【下水道事業】

収益的収支(税抜)

(単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
収益的 収入	8,886	8,835	8,796	8,751	8,615	8,588	8,460	8,398	8,322	8,255	8,222	8,151
収益的 支出	8,664	8,332	8,245	8,163	8,128	8,119	7,979	7,921	7,876	7,773	7,794	7,714
損益	222	503	551	588	487	469	481	477	446	482	428	437
利益 剰余金	222	503	551	588	487	469	481	477	446	482	428	437

資本的収支(税込)

(単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
資本的 収入	2,962	3,334	2,901	2,928	2,607	2,342	2,480	2,157	1,877	1,986	1,860	1,801
資本的 支出	5,740	6,332	6,023	6,280	5,826	5,689	5,985	5,627	5,159	4,936	4,554	4,339
差引額	2,778	2,998	3,122	3,352	3,219	3,347	3,505	3,470	3,282	2,950	2,694	2,538

資金計算

(単位:百万円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
当年度 資金収支	108	56	3	162	151	265	421	370	221	142	377	516
資金収支 累計額	958	1,014	1,011	849	698	433	12	358	579	437	60	456

(参考)

(単位:億円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
企業債 残高	406	383	360	337	315	293	269	246	222	202	184	169

【算定条件】

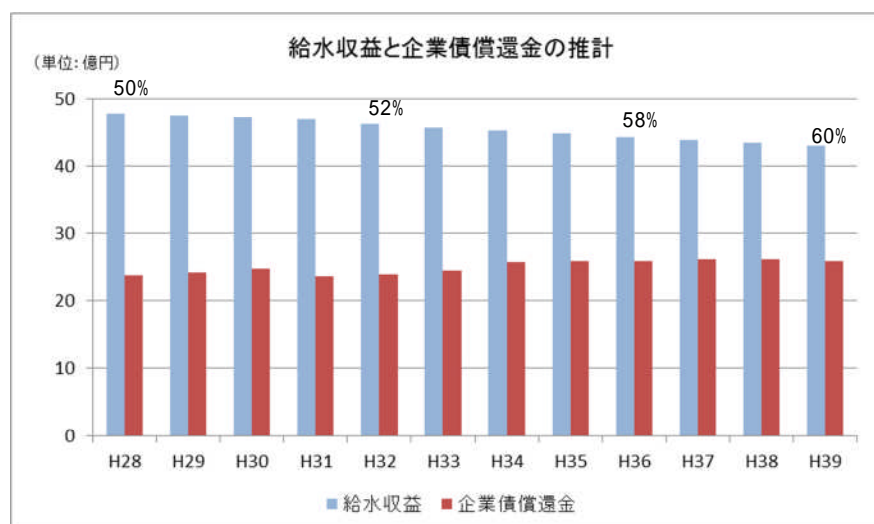
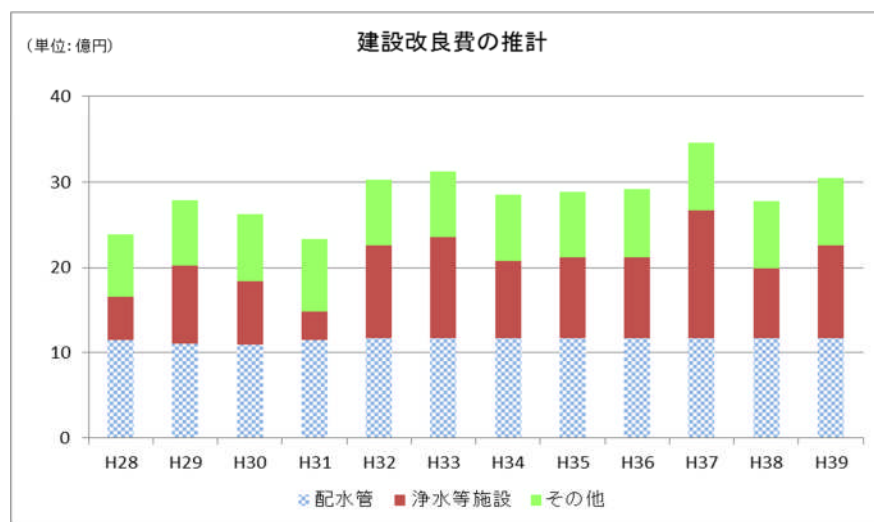
下水道使用料	現行の使用料体系で算定
維持管理費	平成28年度予算の単価を基本にして算定
人件費	平成28年度予算の平均給与を基本にして算定
企業債(借入金)	年利1.2%で算定
消費税及び地方消費税	平成28年度は8%、平成29年度以降は10%で算定

長期財政推計では、損益は毎年度黒字になりますが、当年度資金収支は平成30年度から平成36年度までマイナスになるなど財政状況は厳しさを増し、平成35年度に資金不足に陥ると見込んでいます。しかし、平成30年代後半には資金収支の改善が見込まれることから、資金不足が生じる一定期間の資金確保の方策を検討することが必要と考えています。

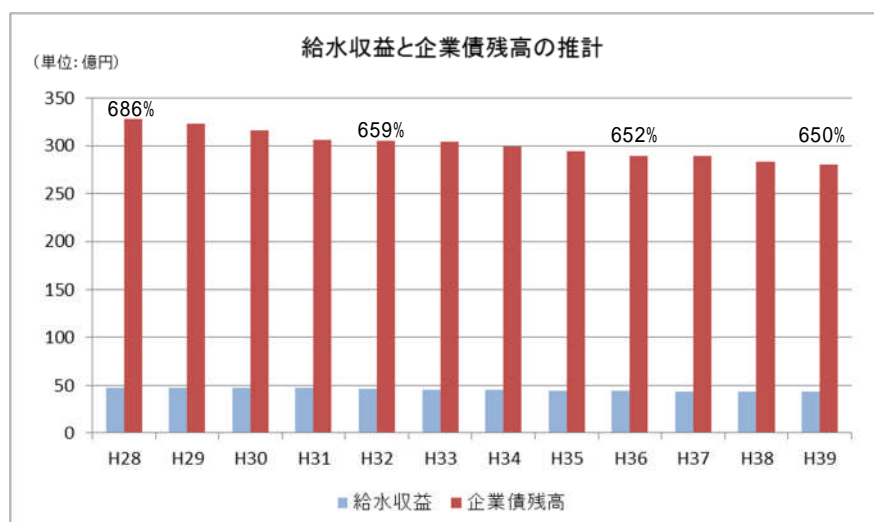
企業債残高は、順調に減少していき、平成39年度には平成28年度の半分以下になると見込んでいます。

5 参考資料

【水道事業】

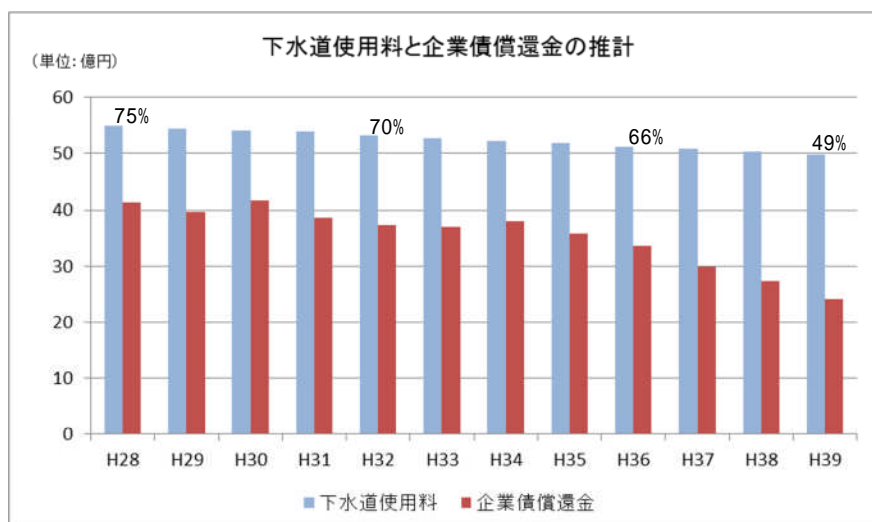
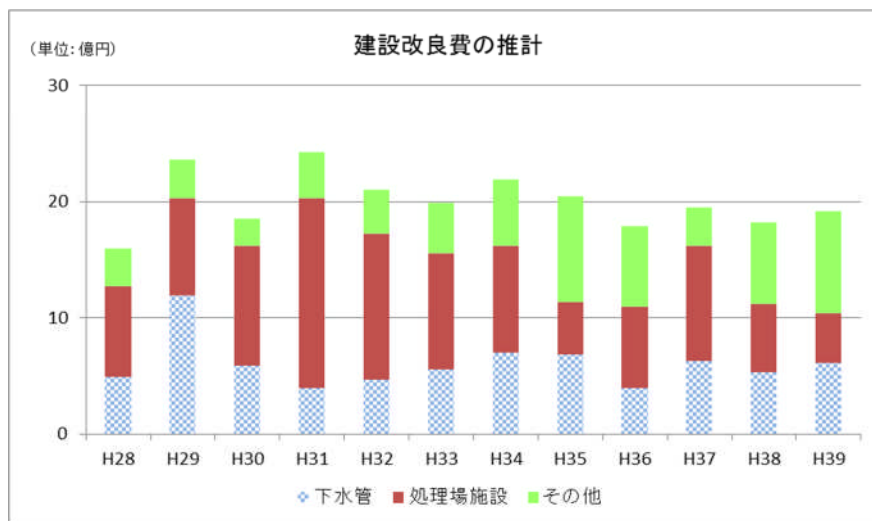


H28,H32,H36,H39 の%は、給水収益に対する企業債償還金の割合

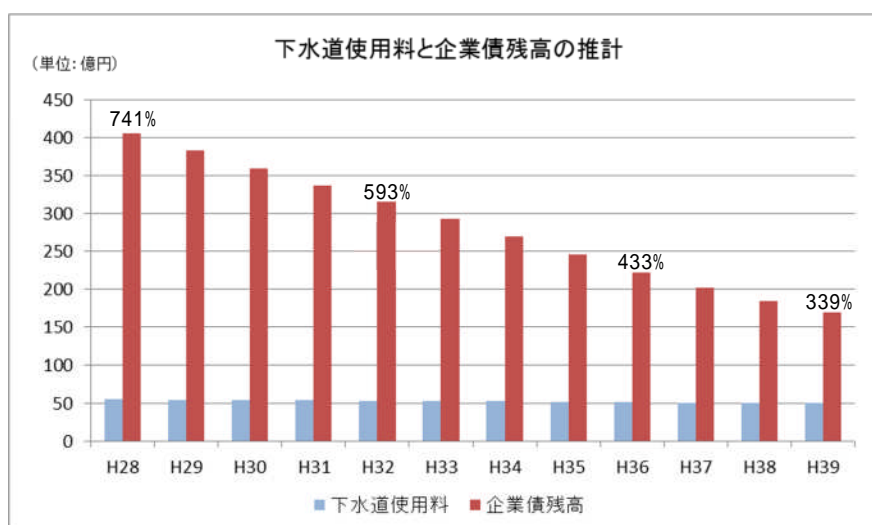


H28,H32,H36,H39 の%は、給水収益に対する企業債残高の割合

【下水道事業】



H28,H32,H36,H39 の%は、下水道使用料に対する企業債償還金の割合



H28,H32,H36,H39 の%は、下水道使用料に対する企業債残高の割合